

地盤工学会 関東支部 造成宅地の耐震対策に関する研究委員会 (H23 年度活動)  
第 2 回議事録 (準備委員会含む第 6 回)

日時：平成 23 年 10 月 28 日 (金) 10:00~12:00

場所：公益社団法人深田地質会議室

出席者：安田委員長、太田先生、内山委員、小川 (和) 委員、小川 (鉄) 委員、小西委員、小林委員、澤田委員、新坂委員、末富委員、杉山委員、諏訪委員、高田委員、手塚委員、橋本 (和) 委員、橋本 (隆) 委員、松下委員、松本委員、吉田委員、大林

資料：6-1 議事次第、議事録

6-2 マルチジェット工法資料

6-3 液状化した戸建て住宅の復旧方法の種類と特徴、尼崎市築地地区の液状化対策ほか資料

6-4 宅地の液状化対策について

6-5 埋立地の地下水位を少し下げた場合の地盤の沈下の可能性に関して

6-6 新聞記事

議事：

1. 委員長挨拶

・別途 JGS 関東支部では浦安委員会等も進行中であり、その結果などとも連動して考えて行きたい。

2. 話題提供

2-1 マルチジェット工法 (手塚委員) 資料 6-2

・工法の紹介と既存宅地に適用した場合のシミュレーション結果を報告

2-2 尼崎市築地地区の液状化対策 (諏訪委員) 資料 6-3 pp.17-26

・兵庫県南部地震の復旧として実施した再液状化対策事例を紹介

・公共用地 (道路部分) の地下水位低下工法 (GL-1.5~2.0m) による対策によって、民地部の対策にも結果的にはなっていることの紹介

2-3 宅地の液状化対策について (大林幹事) 資料 6-4

・合理的な液状化対策を宅地で実施する場合の、施工方法と単価について紹介。

・今後考えなければならないクライテリアや設計の整理が必要。

3. 「液状化した戸建て住宅の復旧方法の種類と特徴」について (資料 6-3 pp.1-15)

・修正点の確認。今後の工法記載に関しては、JGS 会員会社の工法に限るようにする。HP で公開した際に会員会社から工法掲載の申し出があった場合には柔軟に更新をする。

4. 相談員制度について (資料 6-3)

・11 月 1 日に菊池幹事長と浦安市に出向き、話を進めていく。

5. 埋立地の地下水位を少し下げた場合の地盤の沈下の可能性に関して (資料 6-5)

・広域な埋め立て層の地下水位を低下した場合の Ac 層の水圧はその上部しか下がらないという見解のご紹介があった。今後、これについてもさらに照査する。

6. 次回予定

12 月 13 日 (火) 14:30~ 地盤工学会館 地下会議室

話題提供案：人見委員 (UR の宅地クライテリア)

澤田委員 (浦安、栗橋のその後の状況)

橋本委員 (地下水位の低下方法)

大林幹事 (浦安入船の対策効果)

安田委員長 (柏崎の事例)

以上